

関西学院大学の傾向と対策

① 出題パフォーマンス (種類・形式・分野など)

- ① 全学部日程試験が2日間、学部個別が4日間の**6種類**。日付別の頻出単元は【**日付別のナショナルリズム**】を参照... 同日程の出題では、3年以内には同じ出題はほぼ無し。**4~6年前に出題された単元**が再度出題されることが多い。
- ② 60分 = **大問5問**で50問、空所補充 or 一問一答は約**15~20点分**、その他のほとんどは**文章正誤四択(短文)**。合否は正誤対策で決まる。
- ③ 単元(内容) = 時代・地域のバランスが良い。Iが古代、IIが中世、IIIが近世、IVが近代、Vが近現代・戦後といった感じに**全範囲を満遍なく出題**する。大問Iの**古代ギリシア~ローマ or 古代オリエント・インド・中国世界**からはじまり、大問Vは**WW I 前後~戦後史**になることが多い。西洋史:東洋史ともにバランスよく出題されるので偏って学習では高得点は取れない。反対に、ある意味、7割程度が狙いならば、苦手な分野を捨てても合格ラインは取れる。
- ④ 文化史は**一問一答(人物と業績の組み合わせ)**、戦後史はやや**レベルが高いが**、繰り返し類似した単元や分野が出題されるので、他学部の出題を徹底的に潰せば怖がる必要はない。文化史が出るか、戦後史が出るかについては、規則性はないが、**コンスタントに散りばめてあるのが<文化史>**、**どっと大問1つで出題されるのが<戦後史>**。今年の入試が始まってみないと、どの日程でどちらが多くなるかは分からない。となると、確実にやっておきたいのは**<文化史>**、過去のデータや今年の全学部日程から当てに行くなら**<戦後史>**になる。
- ⑤ **正誤問題**は、「〇〇に関する記述として誤っているモノ」で、〇〇は**国・人物・歴史用語**が中心
*知識重視 = **人物の業績、国家・王朝の特色、重要事件の内容、歴史用語の説明**など
- ⑥ **年代問題**は、1年分の出題で**1~2問**と少ない = **出来事**の流れ(長期的な戦争・英&米&仏&露などの革命の流れ)・**領土拡大**の動き・**政権掌握**の流れなどを問う。*年代を完全に暗記していなくても解くことは可能。**単語カード**で並べ替えを練習すれば大丈夫。
- ⑦ ここ数年、用語の **Level が下がった**(他大学もそうだが...) → **用語集頻度 4(赤字)**以上で70%は越える(**浅くて広い知識**を要求している)。世界史で稼がないのならば、**ハイレベル用語は<取えて捨てる勇気>**が必要。*戦後史は少々ハイレベルが多い。

②傾向から読む絶対対策

- ① 同一学部で過去 3 年分から**同じ単元や分野が出題されることは稀(小問3~4問程度)**。目標得点にもよるが、同一学部の問題の過去問を繰り返すならば、**2015~2107 年の過去問**からの出題が狙うことができる。
- ② **8 割がスライド出題**である … **2018~2020 年の他学部の出題(6 か年データの新しい 3 年分)**と類似した単元・分野が確実に**出題される**。よって、他学部過去1~3 年間の中から、自分の**苦手な単元・分野**又は受験学部**にまだ出題されていない単元や分野**の大問を抜き出してアウトプットすると**効果あり!**
- ③ **同年流行**がある … 同一単元・歴史用語が**5~6 種類**、**2~3 学部**に出題される(類似した選択文が繰り返される) = 本年度の出題情報(特に2/1・2/2・2/3)が重要
***問題の入手や入試情報が不可欠** ***必ず解き直してから受験に臨む**
- ④ **正誤対策**として … **用語集の赤字 level の熟読** が重要、**関学文章正誤問題に慣れる**ことが最も大切。関学以外では、**同志社・南山・上智(~2020 年)・早稲田・慶應経済・明治大学の過去問**の中から**正誤問題をピックアップしてやり続けると悟る(笑)?!**